

専 門 科 目

問題用紙

<注意事項>

- 1) A～N群のうちから2群を選択し、選択した2群の中からそれぞれ1問について解答すること。
- 2) 選択した問題各1問につき、答案用紙1枚を使用して解答すること。
- 3) 各答案用紙の上段にある枠内に、選択した問題の群、番号および領域名を明記すること。

<例> 「体育・スポーツ経営学」の問題を選択した場合

選択した問題	群 C - 番号 1	領域名 体育・スポーツ経営学
--------	------------	----------------

- 4) 答案用紙には、受験番号を必ず記入すること。
- 5) 問題用紙、答案用紙、下書き用紙は、すべて回収するため、持ち帰らないこと。

平成29年度博士前期課程体育学専攻入学試験問題(専門科目)

A群

A-1 (体育・スポーツ哲学)

体育とスポーツとの違いについて説明しなさい。

A-2 (体育史・スポーツ人類学)

日本が初めてオリンピック競技大会に参加した過程について述べなさい。

A-3 (武道学)

嘉納治五郎の「柔道」創始について、近世「柔術」との関係も含めて述べなさい。

B群

B-1 (スポーツ社会学)

ナショナリズムの概念を述べた上で、スポーツとナショナリズムが結びつく理由を3つあげて説明しなさい。

B-2 (体育心理学)

不安や抑うつなどの気分の測定に活用できる心理検査を2つ取り上げ、特徴を対比しながら説明しなさい。

C群

C-1 (体育・スポーツ経営学)

地域スポーツの経営資源について述べなさい。

C-2 (スポーツ政策学)

国内外のドーピングに関する政策および制度について説明しなさい。

C-3 (スポーツ産業学)

国際オリンピック委員会の主要な収入財源について述べなさい。

D群

D-1 (体育科教育学)

体育授業研究に用いられる代表的な組織的観察法である授業期間記録法について解説し、教師教育におけるその意義について述べなさい。

D-2 (アダプテッド体育・スポーツ学)

ブラインドサッカーについて、アダプテッド・スポーツの視点から説明しなさい。

E群

E-1 (健康教育学)

疾病予防の5段階について3つの予防レベルに関連づけて説明しなさい。

E-2 (環境保健学)

水泳プール水を消毒する理由、手段およびその限界について述べなさい。

F群

F-1 (運動生理学)

全身持久力を高めるトレーニングを長期にわたって行うと身体はどのように変化するのかをフィックの式を用いながら説明しなさい。

F-2 (運動生化学)

「Fight or Flight／闘うか逃げるか」の緊急反応時に増加する血中へのホルモン分泌は激運動時にも生じる。そのホルモン名(アミン)と由来(分泌器官名)、脳、循環、糖代謝面の生理作用について説明しなさい。

F-3 (運動栄養学)

三大栄養素を列挙し、その機能をスポーツ栄養学の立場から説明しなさい。

G群

G-1 (体力学)

心拍数から運動強度を求める方法とその際の留意点について説明しなさい。

G-2 (健康増進学)

サルコペニアについて説明し、その予防策を述べなさい。

G-3 (体育測定評価学)

青少年における敏しょう性の測定方法を1つあげて説明しなさい。

H群

H-1 (内科系スポーツ医学)

貧血とは何かについて説明し、アスリートでよく認められる症状と原因およびその対策を述べなさい。

H-2 (外科系スポーツ医学)

アスリートを対象としたリハビリテーションを5段階に分け、各段階について説明しなさい。

I 群

I-1 (スポーツバイオメカニクス)

走動作をキネティクスの的に分析する際に、地面反力計を利用することによって算出可能となる有用な物理量について説明しなさい。

I-2 (応用解剖学)

骨格筋の構造について、巨視的から微視的へと段階的に説明しなさい。その際、それぞれの構造物を包む膜についても説明しなさい。

J 群

J-1 (コーチング論・トレーニング学)

スポーツのインテグリティに対する脅威を3つ以上あげ、それらに対してコーチとしてどのように対処すべきか述べなさい。

J-2 (スポーツ運動学)

運動指導における観察分析と交信分析の相互補完性について、具体例をあげて説明しなさい。

K 群

K-1 (体操コーチング論)

体づくり運動における「体ほぐしの運動」について、その特性と指導上の留意点を述べなさい。

K-2 (体操競技コーチング論)

マット運動における後転倒立の技術について説明しなさい。

K-3 (陸上競技コーチング論)

円盤投をいくつかの局面に分割し、それぞれの局面における望ましい技術について説明しなさい。

K-4 (水泳競技コーチング論)

水の物理的特性をあげ、水中運動の効果をその物理的特性と関連させて簡潔に述べなさい。

L 群

L-1 (バレーボールコーチング論)

バレーボールのコンビネーション攻撃におけるバックアタックの有効性について説明しなさい。

L-2 (バスケットボールコーチング論)

バスケットボールにおけるピックスクリーン (ボール保持者とボール非保持者によるスクリーンプレイ) に対する防御方法を3つ列挙し、説明しなさい。

L-3 (ハンドボールコーチング論)

ノーマークシュートにおいて、ゴールキーパーのタイミングを外す技術について説明しなさい。

L-4 (サッカーコーチング論)

パス技術向上を目的として実施されるドリル形式のトレーニングとポゼッション形式のトレーニングについて、それぞれのメリットとデメリットを説明しなさい。

L-5 (ラグビーコーチング論)

攻撃戦術の一つであるポッドシステムについて説明し、バイポッドとトライポッドを採用する際の利点と欠点をあげなさい。

L-6 (ラケットバットスポーツコーチング論)

テニスのスマッシュ、バドミントンのスマッシュ、または野球のピッチングの中から 1 つ選び、技術的な留意点について説明しなさい。

M群

M-1 (柔道コーチング論)

くずしと体さばきについて、膝車を例に説明しなさい。

M-2 (剣道コーチング論)

剣道の鍔ぜり合いの方法と指導上の留意点について説明しなさい。

M-3 (弓道コーチング論)

射法八節の意義について説明しなさい。

N群

N-1 (野外運動論)

プロジェクトアドベンチャーについて説明しなさい。

N-2 (舞踊論)

中学校学習指導要領に示されている「現代的なリズムのダンス」について説明しなさい。